



シルバーだより

No. 373

令和4年2月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 学び続け、そして広げる —

学長代行 望月 公子

新年度に向けて募集が行われる2月は、1年間で一番忙しい月です。

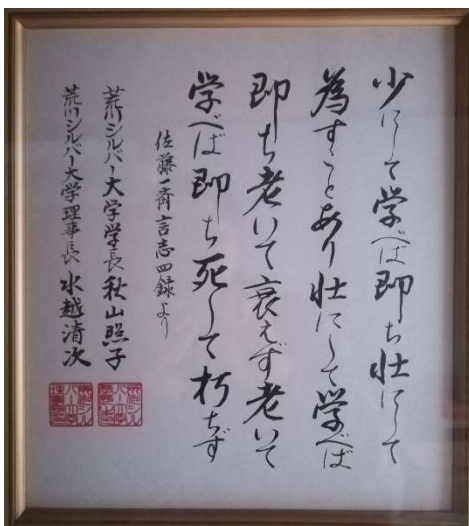
令和4年度は、新設の教室もあり、学生の皆さんは、教室の継続や選択の手続きで忙しいことと思います。数ある教室の中から、自由に選べる学校は、シルバー大学の特色の一つです。

コロナ騒ぎが始まって丸2年。休校や人数制限、教室の変更等々多くの難題を乗り越えつつ1人の感染者も出なかったことは、シルバー大学に関わる全ての人々の意識の高さの証明だと自負しております。

コロナ対策に万全を施しつつ成功裏に終わった学園祭でした。今月は学芸会が計画されていますが、出演する教室の成長ぶりを観るのが楽しみです。私としては、観客・出演者が溶け合う発表会になることを願っています。



内容は前後しますが、先日荒川区長西川太一郎様の年頭の詞をお聞きする機会がありました。『区内を網羅した1年間の発展予想と計画。更に、安心安全、幸せと思いやりに満ちた、実現可能な荒川区ならではの展望』に胸を熱くしました。と同時に『地元は守られていること、そして我々シルバー大学が期待されている役割』について、背筋を正す思いで帰ってきました。



『少にして学ばば即ち壮にして為すことあり 壮にして学ばば即ち老いて衰えず 老いて学ばば即ち死して朽ちず』(佐藤一斎 言志四録より)。これは、大学創設初期の標語です。

「学び そして地元を広げる」。積み上げてきた貴重な経験を生かして、今年もまた新しい第一歩を踏み出しましょう!!

●今と昔の歴史散歩教室 加藤 純成

今年も学園祭は、中止か・・・と、思っていたら、今年は「配慮しながらやりま
す」・・・と決まりました。「とりあえず、前回の展示を参考に考えましょう」

教室代表を中心に、準備が始まりました。毎月出かけた場所を班ごとに模造紙に
まとめることにしました。ホームページを作っていたので、大学のホームページか
ら画面を取り出し、印刷拡大し模造紙に貼り、その回りに資料や学生の感想等を貼
ることに。すると、俳句を貼る人、拾ってきた木の実を貼り付ける人、色々と工夫
しながら作っていました。今年も無事に展示を終えることができました。

●陶芸教室 羽二生 みどり

今年も学園祭が開催でき良かったです。はじめは展示が今までと違いホールにな
るので、不安の方が大きかったですが、展示してみると一人一人の作品が見やすく
他の教室の作品もゆっくり観賞ができ安心しました。来年もホールで展示できれば、
コロナ生活も安全に過ごせると思います。

残念なのは、来場者が少なくなったことと、チャリティーが出来なかったこと
です。チャリティーは時期を見て学校の方で開催できたらと思います。

今回の学園祭で自分の作品を発表する場と、他の人の作品を観賞することが大切
だと再確認しました。一年一年の節目にもなると思いました。

●読書・心の旅教室 木村 國子

「読書・心の旅」は今年度開講した教室です。学園祭には初めての出展で、1年
間も活動していない状況で何をどの様に展示しようか、皆で話し合いました。

まず、授業で今迄読んできた本を展示することにしました。授業時間内で読める
短編で、五木寛之、吉村昭、阿川佐和子、井上ひさし、宇江佐真理等の著作から選
び読んだので、それらの本を各自記録してきた読書ノートと共に展示しました。

夏休み中は、学生が推薦した5冊の長編のうち、自分の好みの本を選んで読み、
同じ本を読んだ者がグループになり、読後感想など出し合った結果を紙上発表しま
した。「マララ」「麻酔科医」「小説八〇五〇」「小説伊勢物語 業平」「夜と霧」と、
いずれも名著と言える本です。

より深く、より広く、読書に親しみ、交流を通して楽しく活動しています。

●東京近郊ミニ散歩教室代表 沖田 芳一

学園祭展示品は6点でパネルに張り付けている。1点は教室の紹介、5点は各班
が散歩した場所を担当し作成している。学園祭が11月に行われると決定後、毎月
1か所の散歩場所は、コロナのため中止になった月があり5か所に満たなかった。
このため前年に訪れた場所も追加し、各班に展示散歩場所を決めてもらった。

6点の展示は次のとおり。1点目：教室の紹介(講師作成)。2-6点目(散歩場所、
散歩日、担当班)。2点目：葛西臨海公園、2020年9月10日、1班。3点目：本土
寺・東漸寺、2020年12月3日、2班。4点目：芭蕉記念館、2021年9月30日、
3班。5点目：南千住史跡散策、2021年3月2日、4班。6点目：細川庭園・椿山
荘庭園散策、2020年2月13日、5班。

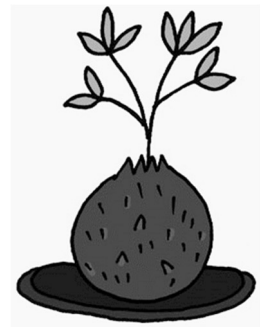
前年度の散歩場所を担当した班は、今年再度訪れ再撮影されたようです。早くコ
ロナが収束し予定通り散歩を楽しみたい。

●自然と小さな旅教室助手 — 初めての苔玉造り —

おさ
長 照美

11月10日、学園祭の作品作りのため、好みの植物などを持って会場に集まる。そこには、大量の水苔や苔が袋に納められていた。これは、箭内先生や学生の皆様が、奥多摩まで行って採取してくれたものだ。

苔玉造りの経験者は既に着席し、作品を作り始めている。私を含む初心者5~6人が、世話役の増山さんを講師に、作り方を教えていただいた。花や葉を形よくまとめ、糸で括り、その回りに水苔を巻きまた糸でしばる。糸で巻くそばからパラリパラリと落ちてします。うまくいかないんだなあー。最後は苔を巻きつけ再度糸でしばる。なんとか形ができてきた。11月12日にムーブ町屋に作品を持って集まり、展示する。30数点の力作が並び、展示台が華やかになった。



その後、他の教室の作品を見せていただいたが、陶芸・書道・編物・写真・折り紙等素晴らしい作品ばかり。学生の皆様のご苦勞が偲ばれます。

●水墨画教室 結城 秀翠

去る3月10日から6月30日まで、大腿骨骨折で入院しておりました。脳裏をかすめたのは、『教室、学園祭をどうしましょう』ということ。意地でも実施しなければ、学生の皆さんから電話やメール、お手紙など、励ましのお言葉を戴きました。足が1センチ上がったと喜んだものです。辛いリハビリを乗り越え、まだ杖をつけてですが、何とか歩けるようになりました。

教室も4か月お休み致しましたが、田原さんにご配慮頂き、また学生の皆さんも頑張ってくださいました。今の暈し、白抜き技法になって5年目を迎えます。面白さ、楽しさが少し分かって来たようです。コロナ禍で3名位お休みでしたが、他の方達はほとんど休むこと無く出席して下さいました。学園祭も昨年はコロナ騒ぎで中止となり、今年はどうなることやらと心配致しましたが、無事開催することが出来深く感謝致します。これからも学生の皆さんと共に、更に精進致したいと思います。コロナウィルスが、一日も早く終息致しますように切に願います。

●俳句教室 田中 京

2年ぶりの学園祭開催となりましたが、今回は会場での密を避けるという配慮のため、展示作品の前に交代で立つ当番がなくなりました。そのため、作品について来場者の質問にお答えする人がいないので、一句ごとに作者のコメントを印刷して、展示作品の前に置きました。2年前にも試しに置いてみたのですが、好評で用意したプリントが足りなくなりました。今回は数を増やして用意しましたが、それでも金土日の3日間のうち二日目の土曜の分は午後3時前にはなくなっていました。

今後の改善点としては、用意した作者のコメント集が全くなくなってしまうのを避けるため、配布用とは別にファイルに入れて机の上に置いておく分を用意すると良いのではないかと思います。意味の分からない俳句などをファイルのコメント集を読んで参考にいただき、俳句への理解が少しでも深まる一助になれば、コメント集を全部お持ち帰りいただかなくても、気軽にご利用できることになると思うのです。

●水彩画教室 — 私の学園祭 — 遠藤 光胡

人間は、きれい、美しい等、心に響く思いはいつまでも、と思いながらも、やがては時間と共に薄れていきます。その思いを求めて水彩画教室に辿り着いたシルバード年代の学生達。私にとって学生達のその思いを、一日でも一年でも早く実現させてあげたいという思いが、活動のベースになっています。

教室の活動の中で常に学生の皆さんの絵は目にしていますが、学園祭で全員の絵に接すると、改めて一人一人の進歩の足跡を見つけることが出来ます。

コロナのために少々引き締まった学園祭となりましたが、今後とも、末永く継続することを祈ってやみません。学園祭開催役員の皆さんに感謝！

●絵手紙教室 中島 愛子

去年はコロナ禍の為、学園祭をはじめ、水彩画教室との合同展も中止となり、残念な思いをしたので、完全な復活とは言えなくともまずは学園祭が開催できてよかったです。

会場準備の終了後、皆で展示された絵手紙を眺めていたところ「赤い色を使った作品が多いですね」という感想が上りました。赤い花、トマト、桜桃、草の実等々。それ自体は何ら問題ではないし、今回はたまたまそんな結果になったのかも知れませんが、一寸面白いなと思いました。人間には赤い色に引かれる本能があって、それが描く際のモチーフや出品作品の選択に反映するのでは、などと愚にも付かぬ考えを巡らしたりして。

全体としては、アットランダムな感じに展示してみました。絵手紙の天衣無縫な味わいに合わせたつもりですが、いかがでしたか。

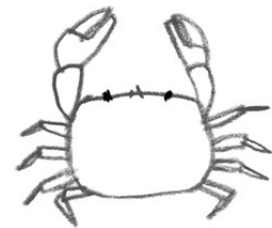
投稿

《《 1万円の越前ガニ 》》

社会科見学教室講師 高橋 建司

今からちょうど40年前の昭和56年、大阪から福井県への“転勤辞令”を受けた。その年の北陸の冬は、20年に一度と言われた“56豪雪”の年。3月だというのに、県庁のある城跡のお堀にはまだ黒くなった雪があった。

その年の暮れ、地元の職員に誘われ三国港の民宿忘年会へ1泊2食4千円で“カニ”を食べに行った。しかし、それに“越前ガニ”1杯が1万円。民宿合計1万4千円。十数人のテーブルの前にはそれぞれ4~50cmカニが1杯。よく見ると、どれもこれも足が1本無い。育つ間に何かの原因で8本あるべき足が7本になってしまったようだ。しかし、味には問題ない。旨い、旨い、とみんな話もせずバリバリ食べた。「忘年会やけに静かなカニづくし」の川柳のまま。はさみで殻を破り足を丸ごと食べたり、カニフォークでほじくり出して、食べるのに夢中になった。



翌日、あまり旨かったので浜へ出てドラム缶で茹で上がった真っ赤な越前ガニを家の土産に購入。何と1杯1万5千円。しかし、このカニは五体満足。これがホテルに行くと2万~2万5千円と言われた。

民宿で食べた“越前ガニ”は足が1本欠けていたので料亭に出せない“訳ありカニ”のため、1万円で食べられたことを後で知った。

令和3年度 荒川シルバー大学

学芸会 プログラム

日時: 令和4年2月28日(月) 午前9時30分～午後4時45分

会場: サンパール 3F 小ホール 受付 9:30～



出演教室(9) 健康体操 英語 日本の話芸 輪踊り民舞

フラダンス 朗読 音楽 気功 歌声クラブ 茶道

教室名	内容	予定時刻
開会式	挨拶 理事長 岡田芳子	9:50～9:55
1 健康体操	安来節 アメージンググレース ロザリオ 見上げてごらん夜の星を オーシャンゼリゼ 他	10:00～10:30
2 朗読	エッセイ「長い旅の途上」より (星野道夫作) 詩「お伽噺」他 (新美南吉作) 「みち」 (谷川俊太郎作)	10:35～11:20
3 日本の話芸	寿限無 川柳 小噺し 笠地蔵	11:25～11:50
4 音楽	七色の鐘 茶色の小びん 赤いサラファン 月の見えない夜は あなたの心に	11:55～12:25
(昼休み)		12:30～13:30
5 フラダンス	月の夜は パパリナラヒラヒ マキーアイラナ 糸	13:35～14:05
6 英語	英語劇 「オズの魔法使い」	14:10～14:50
7 歌声クラブ	思い出の曲によせて	14:55～15:20
8 輪踊り民舞	荒川音頭 につぼん音頭 真室川音頭 ダンシングヒーロー 炭坑節	15:25～15:50
9 気功	心臓の病気の予防 肺臓の病気の予防 腎臓の病気の予防 肝臓の病気の予防	15:55～16:25
閉会式	挨拶 学長 木村國子	16:30～16:40

※ 茶道教室「お茶席」10時～15時 4F 和室にて

(受付時間14時30分まで)



俳句教室

極寒の句より



先生のゆるめに投げる雪合戦
 残照に妖怪となる冬の雲
 有明の月は白銀寒近し
 初日の出東雲清し良き兆し
 寒げいこ素足の指の赤く冷え
 母の余命告げられし帰路寒の星
 鮫鱈の字とうらはらな無残さよ
 せりなずな口ずさみつゝ雪の朝
 二重マスク下こころは自由寒日和

謡
 朋子
 智子
 知恵子
 ふみ子
 文
 みつえ
 悦
 京



2月の行事について

○2月2日（水）の常任理事会・役員会の開催時間帯について

午後0時半～1時半：常任理事会

午後1時半～3時半：役員会

会場 三階 大会議室

※荒川シルバー大学ホームページ更新履歴・・・1/13 ご挨拶・お知らせ・シルバー便り
 12/29 令和4年度募集要項 12/29 今と昔の歴史散歩 12/22 読書・心の旅 12/21 書道・金曜

◆◆◆◆◆ 1月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

- | | |
|--|--|
| 6日 各教室における事前募集開始 | 19日 令和4年度年間日程申請（区へ） |
| 12日 常任理事会・役員会 | 21日 区民課へ配付依頼書提出 |
| 17日 区役所 高齢者課・生涯学習課へ
「窓口設置依頼」募集要項・申込
書・ポスター・チラシ | 21日 感染防止による授業中止手続き
歌声・折り紙・音楽・気功・水彩画・朗読・話芸 |
| 18日 広報委員会 | 27日 シルバーだより 373号作成 |

※事務局だより※

1. 令和4年度募集受付の期日・時間・会場について

2月4日（金）：午前10時～午後3時

受付会場：第1会議室

2月7日（月）：午前10時～午後3時

受付会場：大会議室

2月8日（火）～17日（金）午後1時～3時

受付会場：各小会議室

（土日祭日は休み）

◆追加申込について：初回の領収書をご持参下さい。（運営費の重複支払を防ぐ為）

※募集要項をよくお読みになり、申込書にご自分で必要事項を記入の上、受講料を添えてお申し込みください。

◆希望教室が定員を満たし次第、締め切らせていただきます。

◆新入学と継続申込用紙の色：新入学はピンク・継続（在校生）は白の用紙です。

（事務局）TEL3801-5740 FAX3801-5691

（ホームページ）<http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原